

で開かれた二次会がどうであったかは把握しておりません。総会に向けての幹事会が何回か開かれました。昨年は総会と同じCICで総会前に3回、総会後に1回の合計4回開催しました。幹事、顧問の皆さんの活発な活動に支えられた総会といえます。

他学部同窓会との交流としては支部長、副支部長の2名参加を基本とし参加しました。

- ・松山高等学校同窓会東京支部 6月10日
- ・ユウカリ会東京支部 7月5日
- ・東京章光会 7月16日
- ・理学部同窓会 10月18日

今年度の総会は下記により開催する予定です。正式には8月にご案内を差し上げます。多数のご参加をお願いします。

日時：2009年10月3日（土曜日） 夕方
場所：愛媛大学サテライトオフィス東京
キャンパス・イノベーションセンター(CIC)
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6
連絡：Mail：kt@palinx.org
FAX：03-5440-9073

今年度から役員が替わりました。引き続きご協力のほどよろしく申し上げます。



写真2：野村先生の講演



写真3：溝端先生の講演

近畿支部便り

近畿支部長 渡辺武晴（機42）

工業会の皆様には益々ご活躍の事とお喜び申し上げます。

近畿支部では平成20年度総会&懇親会を平成20年11月8日(土)に大阪第一ホテルで開催しました。

当日は工業会本部より池内副理事長、大学より応用科学渡辺 裕教授をお迎えし、総勢24名の参加での開催となりました。

◇総会では、支部の活動状況、新体制、会計報告などの報告及が行われました。

◇引き続き行われた懇親会では、池内副理事長、から校友会、工業会の課題や取り組みの状況の紹介や支部活動への期待等のお話を頂きました。また、渡辺先生からは学校法人化以降の学内での様々な取り組みなどの現況のご紹介を



頂きました。引き続き工業会顧問の柳田清実(冶金16)先輩による乾杯のご発声で懇親会が始まりました。出席者は懐かしい顔を確認しあったり、思わぬ仕事の関係を発見して名刺交換したり、学校時代の懐かしい思い出にと話が弾んでいました。

このあと出席者の近況報告では皆さんの多方面での意外な活躍ぶりが披露され大いに盛り上がりました。

最後に全員で校歌を歌い、会を締めくくり閉会しました。

◇今年度は支部総会で承認された以下の役員を中心に活動します。

| | 氏名 |
|-----|-------|
| 支部長 | 渡辺 武晴 |
| 理事 | 多田 督治 |
| 理事 | 氏家 久和 |
| 理事 | 丸山 明彦 |
| 幹事 | 戸川 悦男 |
| 幹事 | 白石 健 |
| 幹事 | 多田 博美 |



◇H19年度支部総会出席者

| | | | | | |
|-------|-------|------|-------|------|-------|
| 副理事長 | 池内 直之 | 機H2 | 増田 朋之 | 電子48 | 三輪 幸一 |
| 応用化教授 | 渡辺 裕 | 生機45 | 河端 豊 | 電53 | 木尾 立也 |
| 機42 | 渡辺 武晴 | 生機45 | 田坂 惇雄 | 機45 | 長船 修治 |
| 治32 | 多田 督治 | 生機45 | 金山 重治 | 電47 | 小川 喜久 |
| 治16 | 柳田 清實 | 治23 | 岩下 大輔 | 機械47 | 平田 研吉 |
| 機械37 | 丸山 明彦 | 治32 | 藤井 健治 | 機械h1 | 内田 浩 |
| 機械39 | 森 和弘 | 電38 | 湯本 秀明 | 情h20 | 西海 良平 |
| 機械47 | 大西 文雄 | 電34 | 村上 博康 | 情h15 | 安永 智美 |

◇平成21年度支部総会&懇親会は11月21日(土) 11:00～ 大阪第一ホテルで開催予定ですので会員の皆様には予めご予約下さいますようお願いいたします。



岡山支部だより

岡山支部長 大田 孝 則 (電39)

岡山支部の状況について、昨年(平成20年)の支部総会・懇親会を中心に報告させていただきます。

岡山支部では平成20年度総会・懇親会を、11月第2土曜日(11月8日)に岡山アークホテルにて開催しました。

本部からの来賓として武田副会長および情報工学科の村上教授をお迎えしました。

20年度の支部会員の出席は40名となり、辛うじて連続6年の40名台の出席記録を維持できました。

総会では武田副会長から、千草会長の代りを

矢野副会長がされること・会誌発行時の寄付金についての謝意・5月17日に開催した総会の内容紹介などがありました。

また、村上教授からはOHPを使用して大学紹介があり、愛大は大学評価ランクとして世界の500位以内・日本ではトップ30位以内に位置しているとの心強いお話がありました。

1年に一度このような話を伺っていると、工業会の活動や大学の生々しい現状を知ることができます。

また、会員の皆様も大学との絆を再認識されたものと思われ、支部総会を開催する意義を改